

日本人権教育研究学会 第2回研究発表大会記事

大会概要

1. 期 日 2002年1月26日(土)
2. 会 場 神戸商工貿易センタービル
3. 日 程

| 9:15 | 9:45 | 12:30 | 13:30 | 16:30 | 17:00 | 17:30 |
|------|------------------------|-----------|--------|-------|-------|-------|
| 受付 | 研究発表 第1分科会 第2分科会 | 理事会 昼食 | シンポジウム | 総会 | 移動 | 懇親会 |

研究発表

【第1分科会】-----

- (1) 9:45 ジェンダー「再生産の場」から「是正の場」としての学校へ
- 「トライやる・ウィーク」の体験先選択を手がかりにして-
長谷川 珠里・兵庫教育大学大学院
- (2) 10:15 学習者の内面性に留意する文学教育の課題と展望
- 作中登場人物の性役割に問題提起する視点から -
梨木 昭平・武庫川女子大学大学院
- (3) 10:45 フランス女子中等教育法成立に関する一考察
小代 肇子・兵庫教育大学大学院
- (3) 11:15 高等学校の歴史授業・人権学習における「従軍慰安婦」問題の
取り扱い方への一提言 - 日韓高校生意識調査を手がかりにして -
今澤 幸代・奈良県立耳成高等学校
- (5) 11:45 Problems and Prospects of Human Rights Education in Asian Schools
(アジアの学校における人権教育の課題と展望)
Jeff Plantilla・ヒューライツ大阪

【第2分科会】-----

- (1) 9:45 夜間中学のリテラシー - 夜間中学の行方 -
小原 武次郎・兵庫教育大学大学院
- (2) 10:15 播磨国明石郡における夙の研究
橋本 誠司・兵庫教育大学大学院

(3) 10:45 『個人の時代』の人権教育の基本的性格について

笹川 孝一 ・ 法政大学

(4) 11:15 近世賤民制の一考察 - 一向一揆起源論を手がかりとして -

小笠原 正仁 ・ (財)同和教育振興会

(5) 11:45 教育集団としての力量を高める実践的研究

- 立場宣言の意味するもの -

大高 忠 ・ 神戸親和女子大学

シンポジウム パネラー発表要旨 -----

テーマ 「ジェンダーと教育」

幼児教育におけるジェンダーの再生産

佐藤 和順 ・ 兵庫教育大学連合大学院

日常の保育場面からジェンダーの再生産に関わると思われる保育事例を挙げ、保育のどの部分
がジェンダー再生産を促す要因となるのかを明らかにした。セクシズム解消のための、保育者の有
する課題と今後の展望を明らかにする提言であった。

男女平等教育の実践 - 中学校の現場から -

日野 玲子 ・ 愛知大学

生徒と教師、また生徒とその保護者の中で、男女平等に関する意識のズレに注目し、生徒を取り
巻くジェンダー意識の形成プロセスの一端に迫ろうとした発表であった。男女平等教育をすすめて
いくために、全教科での取り組み成果と課題が明らかになった。

学校体育とジェンダー形成

井谷 恵子 ・ 京都教育大学

学校体育におけるカリキュラム、教科観、体育授業における経験、教師を取り巻く状況、部活動な
どからジェンダー形成の状況を検討した発表であった。詳細かつ実証的な内容であり、現場教職
員から反響が大きかった。

大学教育とジェンダー

金谷 千恵子 ・ 女性と仕事研究所

大学で女性学の講義を担当した経験から、幼稚園、小、中、高等学校にジェンダーフリー教育の
必要性を説いた。「女性学」という分野から、大学教育とジェンダー形成の関係について、内実に
せまるものであった。